

観光はまちづくり、ひとづくり

出会い は なかうみ 動き出す 未来

# 中海市長会 観光シンポジウム

中海圏イメージキャラクター  
ウンバくん



まち歩きすれば見えて来る、  
もうひとつの山陰が。



平成24年

2月1日 水

13:30~16:30 (13:00開場)

米子コンベンションセンター  
BIG SHIP 国際会議室  
鳥取県米子市末広町294

入場無料 お問い合わせ  
中海市長会事務局 tel.0859-23-5376

《日本海テレビで特別番組放送》

平成24年3月3日(土) 16:00~16:55

平成24年3月20日(火・祝) 15:55~16:50 (再放送)

## 第1部

### 基調講演

観光庁長官 溝畑 宏

◎演題「観光立国の実現に向けての取組  
～観光はまちづくり、ひとづくり～」

## 第2部

### パネルディスカッション

◎テーマ「まち歩きから見えて来るもの、  
連携から現れて来るもの。」

◎コーディネーター  
フリープロデューサー  
(観光・イベント・マーケティング)  
茶谷幸治



### ◎パネリスト

米子市長  
野坂康夫

境港市長  
中村勝治

松江市長  
松浦正敬

安来市長  
近藤宏樹



◎主催:中海市長会 ◎共催:米子市・境港市・松江市・安来市

◎後援:鳥取県・島根県・鳥取県経済同友会・島根県経済同友会・松江商工会議所・米子商工会議所・境港商工会議所・安来商工会議所・中ノ海ブロック経済協議会・山陰中央新報社・新日本海新聞社・BSS山陰放送・山陰中央テレビ・日本海テレビ・中海テレビ放送・山陰ケーブルビジョン

# 観光シンポジウム

# 中海市長会



## 観光はまちづくり、ひとづくり

中海圏域ではここ数年、テレビドラマによるブームや多種多様なイベント、そして関係者の努力により、観光分野での幅広い話題を提供してきました。また今年は「古事記編纂1300年祭」「国際マンガサミット」「山陰ディスティネーションキャンペーン」等のイベントが控えており、さらなる観光客の増加が期待されます。観光は、旅行業、宿泊業、輸送業、飲食業、土産品業等極めて裾野が広く、地域経済や雇用など、地域の活性化に大きな影響を及ぼす産業です。観光客の増加を

一過性のもので終わらせず、長期にわたり観光入込客数を増加させ、ひいては圏域の活性化につなげていくために、いま何が求められているのでしょうか。

今回のシンポジウムでは、日本の観光行政のトップである観光庁長官溝畑宏氏、観光による地域活性化の第一線で活躍されているフリープロデューサー茶谷幸治氏をお迎えし、米子市、境港市、松江市、安来市の4市長とともに、今後の中海圏域観光の可能性と方向性を導き出します。



### 第1部 基調講演

観光庁長官 溝畑 宏

◎演題「観光立国の実現に向けての取組～観光はまちづくり、ひとづくり～」

観光立国推進基本法に基づいて政府が2007年に策定した「観光立国推進基本計画」における5つの基本的な目標の中には「訪日外国人旅行者数の増加」「国内観光旅行消費額の増加」「国内観光旅行宿泊数の増加」などが挙げられています。震災の影響による訪日外国人旅行者数の回復・増加も喫緊の課題ではありますが、同時に、国内観光の持続的な発展が求められています。基調講演では日本の観光行政トップの立場から、その現状と可能性について、日本、山陰、中海圏域に向けて語っていただきます。

【プロフィール】溝畑 宏(みぞはた・ひろし)  
1960年8月7日生。京都出身。1985年東京大学法学部卒業、自治省(現総務省)入省。1990年大分県へ出向。総務部財政課長、大分県企画部次長等を歴任し、立命館アジア太平洋大学および大分フットボールクラブ(大分トリニータ)の設立、2002年のFIFAワールドカップの誘致に尽力。その間、株式会社大分フットボールクラブ取締役ゼネラルマネージャーにも就任。2004年大分県参事に進むも2006年に総務省を辞職し、株式会社大分フットボールクラブの代表取締役に就任。2008年には大分トリニータをJリーグ・ヤマザキナビスコカップ優勝に導く。その後、2010年1月より現職。

### 第2部

### パネルディスカッション

◎コーディネーター  
フリープロデューサー(観光・イベント・マーケティング)

茶谷幸治

◎パネリスト  
観光庁長官

溝畑 宏

米子市長 野坂康夫  
境港市市長 中村勝治

松江市長 松浦正敬  
安来市長 近藤宏樹



◎テーマ「まち歩きから見て来るもの、連携から現れて来るもの。」

中海圏域には全国的にも注目される観光スポットがある一方、圏域内の更なる活性化や連携の強化など、観光地としての更なる充実が求められています。観光客の満足度を上げ、継続的な誘客を図り、圏域を活性化させ、結果トータルの住民満足度も上げる。成功事例を実際に目にした茶谷幸治氏をコーディネーターに迎え、行政・観光業界・住民が目ざすべき中海圏域観光の方向性について議論します。

【プロフィール】茶谷幸治(ちやたに・こうじ)  
イベントプロデューサーとして「アーバンリゾートフェア神戸'93」のチーフプロデューサーを皮切りに「世界リゾート博」の催事プロデューサー、「南紀熊野体験博」「しまなみ海道'99」の総合プロデューサーを務め、一貫して地域・住民主体の地域活性化イベントを主導してきた。その集大成が「長崎さるく博'06」で、日本ではじめてのまち歩き博覧会を市民主体で成功させた。現在、大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会(大阪あそび)チーフプロデューサーとして大阪の市民文化観光の推進に精力的に動いている。



### スケジュール



13:00～	開 場
◆第1部	
13:30	司会挨拶 日本海テレビアナウンサー 岡崎菜都子
13:32	主催者挨拶 中海市長会会長 野坂康夫
13:42	講師紹介 日本海テレビアナウンサー 岡崎菜都子
13:45～14:45	基調講演 観光庁長官 溝畑 宏
休憩: 15分間	※スクリーンにて資料映像上映
◆第2部	
15:00～16:30	パネルディスカッション

◎お問い合わせ／中海市長会事務局 tel.0859-23-5376

